

*** 研究目的**

電磁波の生体への影響に関する研究は近年盛んに行われつつある。しかしながら、分子レベルでの詳細な計測・解析は、そのための装置が存在せず、ほとんど行われていない。そこで、本課題では、生体分子や生体サンプルなどへの電波影響解析に必要な電磁波照射装置を開発することを目的とした。同時に、本開発研究はいまだに広く世間に認知されておらず、研究成果を上げていくこともさることながら、どのような活動を行えば、甲南初のプロジェクトとして、また甲南といえば本研究のようなフロンティア研究とより効果的に認知されるかといった、アウトリーチ活動の検討・実践も課題とした。本活動を通し、本研究が本学の代表的なフロンティア・学際研究となるよう、総合研究所研究チーム制度をうまく活用して進めていきたい。

*** 研究チームメンバーと研究課題**

臼井健二 フロンティアサイエンス学部・生命化学科・准教授
電波照射装置の特性計測、生物・化学の観点からの計測システムの開発・解析、
生命化学研究者のアウトリーチ活動ノウハウの提供

梅谷智弘 知能情報学部・知能情報学科・准教授
電波照射装置の特性計測、機械工学の観点からの計測システムの開発・解析、
知能情報研究者のアウトリーチ活動ノウハウの提供